

△▼札幌医科大学 附属産学・地域連携センターメールマガジン△▼

■第14号■ 2009年4月24日発行

<http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

2009年度最初のセンターメールマガジンをお届けします。
本メールマガジンではセンターの新メンバーのご紹介を中心にお届けします。

▲目次▼

1. センター新メンバー紹介
2. 科研費の内定状況について

◆本メールマガジンは学内教職員ならびに希望者の方に配信しております◆

1. センター新メンバー紹介

今年度、センターに新たに加わった4名からの自己紹介です。

・参事兼副所長 原浩司（はらこうじ）

前の職場は3年間稚内でしたので、札幌の風の弱さと、4月とはいえ、その気温の高さに少々ビックリしています。

当センターは産学連携などの取組の明確化を目指し、その拠点となる組織と聞いております。これまでのように、三高所長を中心に頑張っていこうと思っています。

皆様どうぞよろしく願いいたします。

・特任助教 小野寺理恵（おのでらりえ）

今年4月より産学・地域連携センターの特任助教として橋渡し研究の一環で、大学シーズの臨床応用化に向け、治験基盤の構築のために着任致しました。前職は京都大学医学部附属病院探索医療センター検証部で産官学連携助教として医師主導の臨床試験の支援（臨床試験計画書作成/症例報告書作成/データマネジメント/解析）をしておりました。

初めての土地で仕事をするため文化・慣習など知りませんので、色々教えて頂ければ幸いです。

宜しく願い申し上げます。

・主事（知的財産）津田明子（つだあきこ）

北海道大学大学院獣医学研究科を修了後、北大で知財に携わる仕事をしておりました。専門である医学系の知識を生かし、札幌医科大学での産学連携業務の整備、知財、契約等の業務を行ってまいります。

何か困り事がありましたらお気軽にご相談ください。

・シニアスタッフ（知的財産担当）太田清子（おおたきよこ）

北海道大学薬学部卒業を卒業後、8年間製薬会社のマーケティング部門にて勤務しておりました。退社後、出産・育児の傍ら弁理士試験の受験勉強を続け、2008年に最終合格しました。1年弱ですが、調剤薬局にて薬剤師としての勤務経験もあります。本年3月よりセンター勤務となりました。

現在、3歳（女の子）と1歳（男の子）の2児の母です。

発明相談など、お気軽にご相談ください。

2. 科研費内定状況について

文部科学省科研費について、今年度の確定件数は167件（4月現在）で、昨年度を上回っております。引き続き、交付申請等のスムーズな手続きにご協力よろしくお願い致します。

☆編集後記

今年度最初のメールマガジンはセンターに新しく入ったメンバー紹介を中心にお届けしました。これから色々な場面でお世話になる機会があると思いますので、よろしくお願い致します。

4月に入り寒暖の変化が激しく、マスク姿が目立っております。私も毎日うがいをかかさず行っておりますが、皆様どうぞご自愛ください。(IN)

附属産学・地域連携センターメールマガジン

編集 一瀬信敏

発行 札幌医科大学附属産学・地域連携センター

URL <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メール renkei@sapmed.ac.jp

ichise@sapmed.ac.jp (一瀬)